

## 市長会見の項目（概要）

と き：令和元年7月11日(木) 14:00～

ところ：市政記者室

### ■ 熱中症予防について（注意喚起）

＜担当：健康局健康推進部健康施策課 電話：06-6208-9950＞ 【フリップあり】

- ◆ 年々暑さが厳しくなっており、特に昨年は猛暑が続き、熱中症搬送患者数が著しく増加し、本市においても熱中症搬送数は、2,000人を超えた。今年についても注意してほしい。曇りで気温がそれほど高くない日でも、湿度が高いと熱中症になる可能性があり、気温だけでなく湿度も確認して、万全の熱中症対策をとっていただきたい。
  
- ◆ 特に高齢の方や小さなお子さんは、うまく体温調整ができなくなることや、暑さを感じにくくなることがあるので、熱中症になるリスクが高いとされている。特に高齢者の熱中症は約7割が屋内で発生している。自分自身では気づかないこともあるので、お互いに声をかけ注意し合ってほしい。  
  
もし、少しでも意識がしっかりしていない方がいた場合は、救急要請してほしい。
  
- ◆ 熱中症は命に関わる恐れがある。しかし、適切な行動により予防することができる。
  - ・ 暑いときは無理をしない
  - ・ 急な気温の上昇に注意する
  - ・ のどが渇く前にこまめに水分や塩分を補給する
  - ・ 風の通るような薄着スタイルで、外出するときは、日傘や帽子などを使う
  - ・ 屋内では、すだれや遮光カーテンを活用し、直接日光が当たらないようにする。窓やドアを開けて風が通り抜けるようにする
  - ・ 無理な節電はせずに適度にエアコン、扇風機を使用する
  
- ◆ 適切な予防方法を身に付けて、熱中症を防いでいただきたい。